

指定管理者による公の施設の管理状況評価（平成29年度）

施設	名称	栃木市下津原ルネッサンスセンター（円仁庵）
	所在地	栃木市岩舟町下津原1612番地3
	施設内容	農村レストラン
指定管理者	名称	(株)そば処 円仁庵（下津原そば加工部会）
	所在地	栃木市岩舟町下津原1612番地3
	主な業務内容	農村レストラン（そば）の経営

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	利用案内掲示数			2か所	3か所		
	アンケート実施回数			年1回	随時		
	アンケート回収数			50件	36件		
	利用者苦情件数			0件	0件		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅲ	0.6	15	Ⅲ	0.6	15
指定管理者コメント	<p>・常に利用者の意見を聞きながら、改善につなげています。 今年度は、以前から要望の多かった洋式トイレへの改修工事を実施しました。</p>						
施設所管課コメント	<p>市内外はもちろん県外からの来客者も多い店舗（施設）です。 常に来客へのサービス・改善を心掛けており、接客などしっかりした対応がされています。 施設の設置目的や運営に関しても、従業員への周知もしっかりされています。</p>						

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	年間利用者数		46,000人		46,843人		
	地域農産物利用率		90%		90%		
	自主事業回数		3回		5回		
	チラシ発行回数		2回		3回		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理期間3年で2,000人増にはなりませんでしたが、この3か年では一番良い利用者数となりました。 ・平成30年4月～6月の栃木ディスティネーションキャンペーン（DC）に向けて、みかも山東エリアの施設では県や市主催のイベントが多数開催されました。これに伴い来客も増えており、DC本番に向けてのPRを実施してきました。 ・以前とは違い少人数での客が増えており、相席を好まないため、テーブルを小さいものに変更し席数を増やして、客の回転率を良くしました。 						
施設所管課コメント	リピーターの多い店舗ですが、飽きられないように又新規利用者が増えるようにと日々検討がされています。						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	業者の見積合せ		2社		2社		
	経費削減率		0.30%		-0.70%		
	節電協力案内掲示		2か所		2か所		
	備品等の点検		週1回		週2回		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	Ⅱ	0.8	12	Ⅱ	0.8	12
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・経費削減について常に心掛け、特に電気（エアコン）にはサービス低下にならない範囲で気を配っています。 ・備品管理については年数がだいぶ経過しているものが多く、順次、修繕・買い替えを実施しています。 						
施設所管課コメント	<p>市からの指定管理料は受けずに施設の管理を全て行っています。 施設や備品に経年劣化が目立ってきましたが、順次、修繕等がされ、お客様が安心して利用できる施設となっています。 今年度は法人化に伴う退職金等の支払いや洋式トイレへの改修代等、経費削減にいたりませんが、これも今後の運営を良くするための支出です。</p>						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み							
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③	職員の福利厚生は充実しているか					
	④	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
	⑤	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	人員配置数		7人		7人		
	役員連絡会開催数		週1回		週1回		
	研修会開催・参加数		5回		6回		
	研修会参加者数		15人		延べ46人		
	経常収支比率		100%		95%		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	II	0.8	16
指定管理者コメント	<p>・施設の管理運営を安定して行なう為に、毎週初めの日(火曜日)に4役会議を実施しています。また、今年度は法人化にするために臨時での打ち合わせや外部機関に依頼して相談会を実施し、平成29年10月1日に「株式会社そば処 円仁庵」を立ち上げることができました。</p> <p>・従業員が参加しやすいような実地研修を実施している。</p>						
施設所管課コメント	<p>会計事務所による収支管理に努め、安定した経営がされています。管理運営を行う経営会議（役員会）も週1回以上実施されており、従業員も役員管理のもと安定した営業に従事しています。営業に必要な研修会への参加もしっかりされています。</p>						

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価要素	① 日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	② 緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③ 避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④ 具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	施設の安全点検			12回	24回	
	機器管理体制注意喚起			12回	12回	
	避難訓練実施回数			1回	1回	
	避難訓練参加者数			10人	12人	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器管理体制は、利用者が安心して利用できるように配慮しています。 ・ 火を扱う施設であり、避難訓練（防災訓練）は毎年実施しています。 ・ 飲食店のため年1回清掃業者を入れて全部の清掃をしてもらう他、毎日清掃には気を配っています。 					
施設所管課コメント	<p>安全管理がしっかりされています。 事故報告もなく、安全対策に十分注意していることが伺えます。 防火管理者を中心とした避難訓練も毎年されています。</p>					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	15	15
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	16	16
(3) 施設経費の削減の取組み	15	12	12
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	20	16
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	12	16
評価点合計	100	75	75
総合評価		B	B

第3次評価（選定委員会評価）				
評価	第2次評価点	選定委員会評価点	第3次評価点	第3次総合評価
選定委員会コメント				

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	29年10月	29年 3月	28年 3月
資産総額	30,437,764	31,862,475	29,291,005
売上高	22,708,633	43,992,044	43,991,241
経常利益	△ 967,534	3,020,607	1,104,969
当期利益	△ 1,008,234	2,337,207	760,769
経常収支比率	94.9%	109.9%	103.4%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	29年10月	29年 3月	28年 3月
経常費用	18,835,988	30,387,626	32,608,101
経常収益	17,868,454	33,408,233	33,713,070
経常収支比率	94.9%	109.9%	103.4%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

平成29年10月2日に法人として登記をしたため、事業年度が毎年10月1日から翌年9月30日までに変更になりました。そのため、今年度の財政状況は29年4月1日から10月1日までの半年分になります。